

校長室より

令和4年6月24日(金)

「植物の成長」



長畝小学校では現在、生活科や理科の学習で1年生から4年生までが一人一鉢ずつ植物を育てていて、1年生はアサガオ、2年生はミニトマト、3年生はホウセンカ、4年生はヘチマの植木鉢が所せましと並んでいます。また、畑ではピーマン、ナス、トウモロコシ、カボチャ、キュウリ、オクラ、サツマイモ、ヒマワリなどが植えられていて、子どもたちや先生がお世話をしています。

子どもたちは毎朝、自分が育てている植物のところに行って大騒ぎ。「まだ芽が出ていないよ」「双葉が開いた～」「本葉が出てきたぞ」などと言いながら水やり(時には水遊び?)をしています。

先日、2年生の生活科の教科書を見せてもらいました。「ぐんぐん そだて わたしの 野さい」の内容は思った以上に専門的でびっくりしましたし、子どもたちは教科書を見ているだけで実際に野菜を育てている気分になって、さぞ楽しいだろうなと思いました。

私自身も米づくりをしているので、植物(作物)を育てることの大変さは本当に実感しています。毎日の水管理はもちろんですが、ちょっとでも手を抜くと、周りは草だらけになったり、強い風雨で倒れてしまったり、病気や害虫にやられてしまったり…と一日も目を離せません。だからこそ、愛着がわいて愛情を注ぐことができるんでしょうね。

植物を育てることは人を育てることと似ています。「よく耕された土に種をまいて、水や肥料をしっかりと与え、きれいな花や大きな実をつける」ために私たちは子どもたちのわずかな成長を毎日見守りたいと思います。